

を集めて苗代かき遊びをやらせたところ、子どもたちはみんな元気を取りもどし、いつの間にか熱もなくなつて前よりも元気になつたとのことです。それから部落の人たちが相談をして赤井堂に地蔵さまのお堂をたてて、ていねいにお祭りしたということです。部落では、「しろかき地蔵」さまと云つて信仰する人が大勢おります。健康でたくましい子どもを育てたい親は昔も今もこの地蔵さまに祈願するといわれています。

延のへ田の大蛇

今から百四、五十年ほど前のことです。細布に留太郎という人が住んでいました。毎日山へ行つて薪たきぎをとつたり、草刈りに行つて働いていました。ある夏の日のことです。延田の山奥に藤草を取りに行きました。その日に限つて良い藤つるが見つかりませんでした。

留太郎はどんだん山奥へ入つてしまいました。自分の歩いてきた道も、わからない程山の奥深くまよいこ